

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

・入学者の推移と現状

【表1】に過去8年間の工学部総合システム工学科及びデザイン学部情報デザイン学科の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数及び定員充足率を示す。

総合システム工学科は、平成21年度の開設から平成25年度までの平均入学定員充足率は1.11倍で推移し、平成27年度までは入学定員充足率を0.9倍弱に保ってきたが、平成28年度に入学定員充足率が0.75倍まで低下したことから、平成29年度より入学定員を現行の240名から10名減員した230名とし、入学定員充足率の適正化を図ることとした。

また、情報デザイン学科は、平成16年度に開設し、平成22年度までは定員を充足していたが、平成23年度から定員未充足が続き、平成26年度に受審した大学機関別認証評価の評価結果において「デザイン学部情報デザイン学科の収容定員充足率が低いことと、定員確保のための諸方策の検討」について参考意見が付されたことを受け、平成28年度に入学定員を現行の75名から20名減員のうへ55名としたが、平成28年度の入学定員充足率が0.61倍であったため、平成29年度から入学定員をさらに10名減員のうへ45名とし、入学定員充足率の適正化を図ることとした。

【表1】

工学部 総合システム工学科

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
志願者数	220	291	283	327	323	336	355	308
受験者数	218	287	281	321	315	331	346	305
合格者数	215	273	271	311	300	326	330	293
入学者数	142	204	191	201	181	209	209	181
入学定員	165	165	165	165	165	240	240	240
定員超過率	0.86	1.24	1.16	1.22	1.10	0.87	0.87	0.75

デザイン学部 情報デザイン学科

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
志願者数	101	103	92	69	73	68	79	50
受験者数	99	103	92	68	70	68	78	50
合格者数	98	100	91	67	68	68	76	49
入学者数	79	84	61	49	51	50	50	34
入学定員	75	75	75	75	75	75	75	55
定員超過率	1.05	1.12	0.81	0.65	0.68	0.67	0.67	0.62

・定員充足の見込み

本学の工学部総合システム工学科は、キャンパスが立地する京築地域（行橋市、豊前市、荻田町、みやこ町、築上町、上毛町、吉富町）で唯一の大学であり、その優位性は高い。特に工学部の立地する荻田町は、自動車産業を中心とした製造業企業が集積した地域であり、工学部の教員で組織する「自動車・ロボット研究所」と企業との産学連携による課題解決型の共同研究が行われ、特に日産自動車九州㈱とは、実用的な成果を出しており、そのことが

社会的にも評価されている。

情報デザイン学科についても北九州市及び京築地域で唯一の情報・デザイン系の学科であり、その優位性は高く、当該学科と自治体や地域との連携事業も開設当初から盛んに行われている。

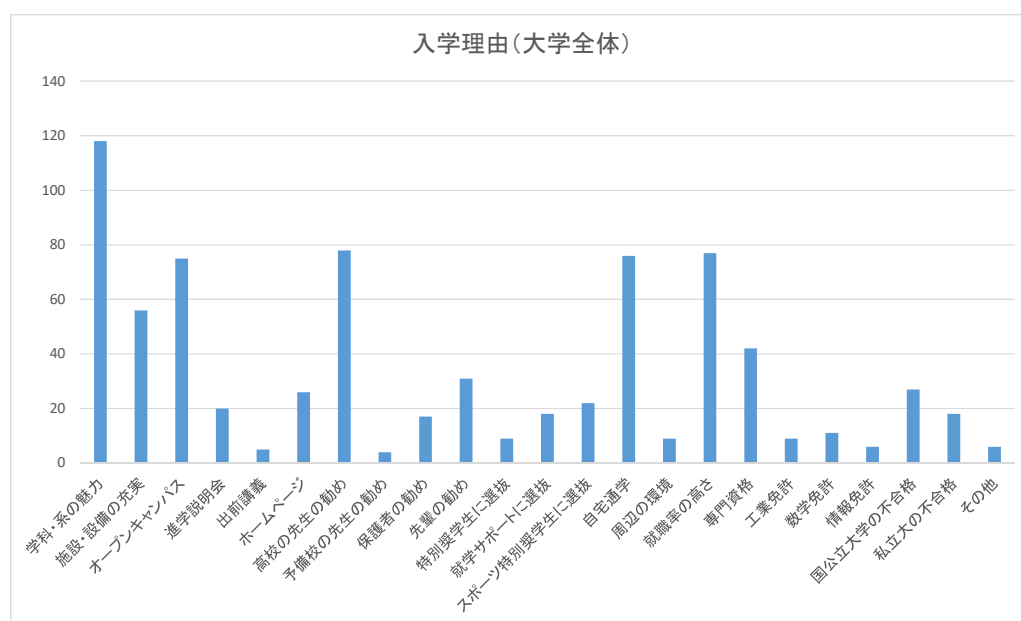
また、本学は文部科学省の平成 26 年度「地（知）の拠点整備事業」に採択されており、大学 C O C 事業を通して北九州市及び京築地域の自治体との連携がさらに強化されたことにより、地域住民の本学に対する存在感や期待感も向上し、そのことは近隣の高等学校からも評価されている。さらに、C O C 事業によるプロジェクトやイベントはマスコミに取り上げられることが多く、大学広報としての効果も大きい。

この地理的優位性と地域を志向した教育・研究・社会貢献を推進し、「地（知）の拠点大学」としてのブランドを確立し、学生募集につなげていく計画である。

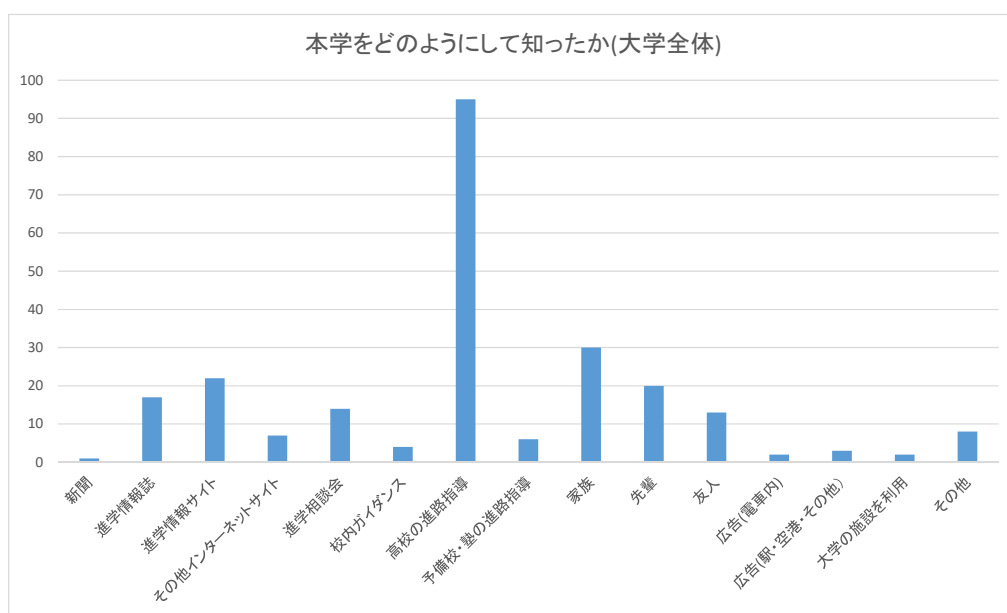
本学は毎年、新入生を対象としたアンケートを実施しているが、アンケート結果の内、【表 2】「入学理由」については、1 位の「学科・系の魅力」に続いて「オープンキャンパス」、「高校の先生の勧め」、「自宅通学」、「就職率の高さ」がほぼ同率で 2 位となっている。また、【表 3】「本学をどのように知ったか」の設問については、群を抜いて「高校の進路指導」が 1 位である。この結果を踏まえ、平成 29 年度入試における学生募集については、高等学校及び教員との更なる信頼関係の醸成、オープンキャンパスの改善・工夫、通学圏内を中心とした学生募集強化を大きな柱として実施している。

その成果として、平成 28 年度に実施したオープンキャンパスについては、3 年生の参加者数（延べ人数）が前年度に比べ 1.3 倍増加しており、過去 5 年間のオープンキャンパス参加者（3 年生）の受験率は平均 46% であることから、平成 29 年度入試における志願者の増加が予測できる。また、高校訪問時に実施した推薦入試における本学志願動向の聞き取り調査でも前年度より増加傾向であることが確認されている。

【表 2】



【表 3】



就職率であるが、総合システム工学科の就職率は安定しており就職希望者比で平成 26 年度は 100%，平成 27 年度は 99.3%である。それに対し、情報デザイン学科は就職希望者比で平成 26 年度は 77.4%，平成 27 年度は 81.1%と他学科に比べ低調である。【表 4】なお、情報デザイン学科は、本年度から地元企業の就職指導を強化することによって、平成 28 年 10 月現在の就職内定率（就職希望者比）は 86.2%に改善されている。【表 5】今後も地元企業の安定した就職率を維持することができれば、入学者の確保につながることが期待できる。

本学は、平成 29 年度に開学 50 周年を迎えるにあたり、その記念事業の一環としてメインキャンパスである「おぼせキャンパス」を中心とした施設のリニューアル工事を進めており、順次竣工している。この事業により学生の創造的な「ものづくり」活動や科学技術活動の拠点となる未来工房の新設や、スポーツ施設の整備等が行われ、学生満足度の向上につながっている。また、本学は平成 25 年度から文部科学省「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」に採択されており、その補助金を活用し、3Dプリンタやレーザーカッター等を備えた「デジタルものづくりカフェ」の整備や、走査型電子顕微鏡、精密万能試験機オートグラフ等の精密計測機器を備えた「計測・分析センター」の整備が進み、大学の教育研究設備の高度化が図られている。本学は、高等学校や地域に積極的にキャンパスを開放しており、社会貢献と併せて、施設設備の充実をアピールしている。

以上、高校訪問による高等学校の教員との信頼関係の醸成や、通学圏内の学生募集活動のさらなる強化、安定した就職率の維持、大学COC事業を核に、地域を志向した教育、研究、社会貢献活動の実績による大学ブランド力の向上を図ること、「京築地域で唯一の大学」、「北九州市・京築地域で唯一のデザイン学部」であることの特徴と優位性を活かすことで、平成 29 年度以降の総合システム工学科及び情報デザイン学科の安定した入学定員の確保を目指す。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学は、平成 25 年 3 月に「地域を志向した大学」を宣言し、地域に特化した教育、研究、地域貢献を果たすことを使命としている。また、平成 26 年度の文部科学省「地（知）の拠点整備事業」の採択を受け、大学 C O C 事業を推進するに当たり、地元自治体及び地域企業との連携、地域の高等学校との連携が飛躍的に推進している。この事業を通して自治体との連携を強化することで、地域住民の本学に対する存在感や期待感も向上しており、特に地元の荻田町、行橋市及び豊前市とは本事業を契機に包括的な連携協定を締結し、その一環として役所や役場などに本学の大学案内や広報冊子を設置することや、市報・町報を活用した広報など、大学広報としても成果を上げている。また、前述のとおり C O C 事業によるプロジェクトやイベント等は、マスコミから取り上げられることが多く、パブリシティを活用した広報展開にもつながっている。

直接的な学生募集対策としては、通学圏内の高等学校を中心とした、きめ細やかな高校訪問を実施しており、昨年同時期の高校訪問回数 556 回に比べ、本年度は既に 977 回の訪問を実施している。また、単に訪問回数を増やしたのではなく、完全アポイント制による訪問を実施し、在学生の修学状況等の報告はもとより、在学生のトピックス等をこまめに報告することにより、高等学校教員との信頼関係強化につながっている。

ホームページについても半年間をかけて刷新し、特に若年層が利用するスマートフォンなど携帯端末での閲覧を重視したリニューアルを行ったほか、SNS の活用による広報も展開している。

また、開学 50 周年記念事業によるキャンパスリニューアルや、文部科学省の補助金を活用した教育研究設備の充実が図られていることから、高等学校の見学会、体験学習、インターンシップ等の積極的な受け入れや、地域社会への積極的な施設開放を通して、施設設備の充実を学外にアピールすることにより、大学のブランド力の向上を図り、ひいては志願者の増加と安定した入学者確保につなげることを目指す。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的

本学は、「人間性に支えられた高度な工業技術者を広く学術の研鑽を通じて育成する」を建学の精神、「人を育て技術を拓く」を基本理念とし、「豊かな人間性の錬成と優れた工業技術者の育成」を教育目標に、責任感、誠実さ、協調性などの徳育に重点を置いた人間性教育を基本姿勢としている。

総合システム工学科の教育研究上の目的は、「本学の建学の理念、学部目的に基づき、総合システム工学に関する理論及び技術を教授研究し、持続可能な社会形成に寄与し、高度な専門性を修得した人材を養成する」ことである。総合システム工学科については、地域企業のニーズを踏まえ、平成 28 年度より設備保全工学コースと智能制御コースを新設している。また、地域企業との共同研究や課題解決型の卒業研究などに取り組んでおり、より実践的な実務型技術者の育成を推進している。

情報デザイン学科の教育研究上の目的は、「本学の建学の理念、学部目的に基づき、情報

デザインに関する理論及び技術を教授研究し、良好な社会環境・人間環境の創造に寄与し、高度な専門性を修得した人材を養成する」ことである。情報デザイン学科においては、開学当初から地域の課題解決をテーマとしたプロジェクト授業等に取り組んでおり、PBL授業の更なる強化を進めている。

また、大学COC事業も3年目を迎え、地域を志向した教育、研究、社会貢献の強化により、地域を理解し、シビックプライドを持ち合わせた技術者やデザイナーの養成が進められており、そのことが地元企業への就職率向上にもつながっている。

② 本学の求人及び就職状況

本学は、就職指導を教育の一環と位置づけ、1年次からのスタートアップセミナーや2年次から3年次前期にかけてのキャリアガイダンス、地元企業でのインターンシップ等を通して、学生の就業意識の醸成や社会人基礎力の育成を図っている。また、3年次から就職ガイダンスやゼミナール、4年次の卒業研究担当教員との面談等を通して具体的な就職指導を進めており、【表4】のとおり平成27年度の大学全体の就職率は就職希望者比で97.9%、卒業生比で91.9%と高い就職率を維持している。学科別の就職率は、総合システム工学科で就職希望者比99.3%、卒業生比95.9%と高い就職率であるが、情報デザイン学については就職希望者比88.2%、卒業生比81.8%と他学科と比較すると低調である。

平成28年度の10月15日現在での就職内定状況は、【表5】のとおり大学全体で就職希望者比84.3%（昨年度同時期80.8%）、卒業生比で81.7%（昨年度同時期73.4%）と昨年度より順調に推移している。総合システム工学科は、就職希望者比86.4%（昨年同時期86.9%）、卒業生比は85.0%（昨年同時期81.9%）で昨年度とほぼ同様に推移しているが、情報デザイン学科については、就職希望者比86.2%（昨年同時期55.9%）、卒業生比75.8%（昨年同時期51.4%）と昨年度に比べ大きく改善されている。この情報デザイン学科の就職内定率向上については、文部科学省のCOC+事業（まなびとJOBステーション）の活用や、北九州商工会議所及びハローワーク小倉との連携による就職指導により、地元企業への就職内定が飛躍的に増加したことによるものである。

また、平成28年度の本学に対する求人企業数は、大学全体で1,455社（昨年度末1,432社）である。

以上、総合システム工学科の就職率は安定しており、情報デザイン学科についても地元企業への就職指導により平成28年度の就職内定率が改善されたことから、両学科については平成29年度以降も安定した就職率が維持できると判断する。

【表 4】

項 目	学部・学科	平成26年度	平成27年度
内定率(希望者比)	総合システム工学科	100.0%	99.3%
	デジタルエンジニアリング学科	100.0%	100.0%
	建築学科	100.0%	100.0%
	情報デザイン学科	95.3%	88.2%
	合計	98.7%	97.9%
内定率(卒業生比)	総合システム工学科	95.0%	95.9%
	デジタルエンジニアリング学科	100.0%	81.5%
	建築学科	92.7%	93.8%
	情報デザイン学科	77.4%	81.1%
	合計	91.1%	91.9%

【表5】

就職内定状況(就職希望者比)

平成28年10月15日現在

区分	前月率	当月率	上昇率	前年度 同月率	前年度末 率
工学部	84.5%	86.8%	2.3P	86.4%	99.4%
総合システム工学科	83.9%	86.4%	2.5P	86.9%	98.5%
デジタルエンジニアリング学科	90.9%	90.9%	0.0P	91.3%	100.0%
デザイン学部	75.8%	80.9%	5.1P	68.8%	94.9%
建築学科	75.4%	78.5%	3.1P	79.1%	100.0%
情報デザイン学科	76.7%	86.2%	9.5P	55.9%	88.2%
合計	80.8%	84.3%	3.5P	80.8%	97.9%

就職内定状況(卒業生比)

区分	前月率	当月率	上昇率	前年度 同月率	前年度末 率
工学部	82.6%	85.5%	2.9P	79.1%	93.7%
総合システム工学科	81.8%	85.0%	3.2P	81.9%	95.5%
デジタルエンジニアリング学科	90.9%	90.9%	0.0P	75.0%	81.5%
デザイン学部	72.7%	76.8%	4.0P	61.6%	88.2%
建築学科	74.2%	77.3%	3.0P	69.4%	93.8%
情報デザイン学科	69.7%	75.8%	6.1P	51.4%	81.1%
合計	78.4%	81.7%	3.4P	73.4%	91.9%